

公立南砺中央病院の3階旧病棟の活用について

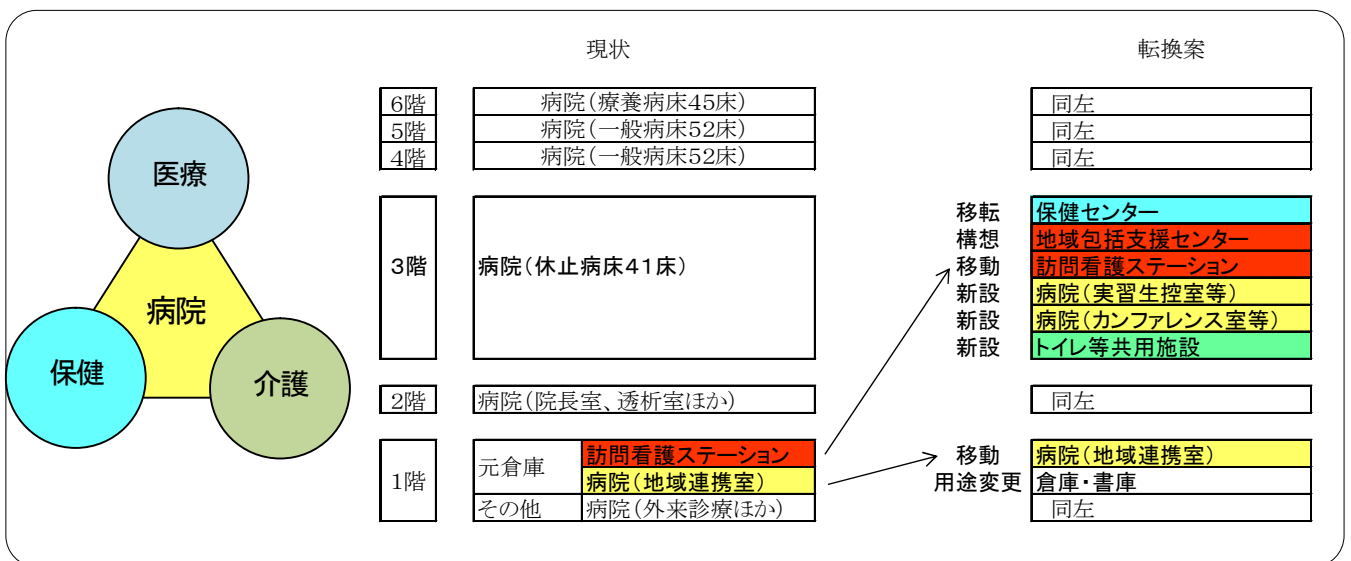
新南砺市立病院改革プラン(平成29年3月23日策定)においては、公立南砺中央病院の3階休止病棟を廃止して、用途転換することとし、病床転換部会、病院改革推進委員会等で検討を進め、平成30年2月に活用の方向を示し公表しました。

基本的な方向として、地域包括ケアの推進、病院事業経営及び市財政（一般会計からの繰出金）の健全化に資するものであることに加え、公と民の役割分担や市の計画（高齢者保健福祉計画や公共施設再編計画など）との整合性の観点から総合的に勘案して、下記3本の柱で、複合施設としての活用及び病院機能の充実を図ることとしました。

記

1. 保健・介護に関する機能の付加（保健・介護施設の設置）
 - ①耐震基準を満たさず建て替えが必要な福光保健センターの移転
 - ※乳幼児健診やがん検診、各種相談会、調理実習など、現福光保健センターで実施している事業は、新福光保健センターで引き続き実施いたします。
 - ②将来的に増加が見込まれる要支援・要介護高齢者に対応する地域包括支援センター福光サテライトの新設(構想)
2. 病院の人材育成・確保対策（看護師確保対策）の強化
 - 看護学生の臨地実習の受入態勢の充実 →実習生控室等の新設
3. 利用者の利便性の向上と執務環境の改善
 - ①訪問看護ステーション福光サテライト →3階に移動
 - ②カンファレンス室 →3階に新設（患者プライバシーに配慮）
 - ③薬剤科調剤室及び倉庫 →3階に新設
 - ※なお、病院地域連携室は1階正面入口のロビーに移動し、相談室を新設します。

○ 地域包括ケアの推進のための医療・保健・介護一体型施設としての再整備



○今後の予定





2019年4月に改修工事を発注し、12月に完成を見込み、各機関は随時移動し運営開始の予定です。

公立南砺中央病院 3階病棟改修平面図 案



 床版敷設部を示す。

【凡例】

	保健センター部	797.48m ² (55.36%)
	包括訪問看護ステーション部	97.00m ² (6.73%)
	病院部	269.25m ² (18.69%)
	共用部	276.90m ² (19.22%)

公立南砺中央病院駐車場改修平面図 案

